

幻の 78 枚の写真

介護老人保健施設緑寿園 東 朝幸



新型コロナやロシアのウクライナ侵攻等、世間の暗い話題が多い昨今、何か明るい事を考える機会にでもと思い、遠い青春時代に思いを馳せる事にした。誰しも学生時代の失敗はたくさんあると思われるが、今にして思えば、笑い話でしかない、そのエピソードの一つを紹介してみる。

大学5年生の夏、親の脛をかじって単独でアメリカ旅行をする事になった。私の父は弓道八段の腕前で、それが縁で小学生の頃、外人さんが私達の家に宿泊した事があった。そこで、今度は私がその弟子達のお宅へお邪魔する事になったのである。

さて、海外旅行に胸はずませての成田からの出発だったが、格安のチケットを使ったせいで、イヤホーンが故障している席での長時間のフライトの洗礼を受けた。今日のようにビデオやインターネットのない時代であった。やっと思いで、ハワイでの入国審査にたどり着いた。只で厄介になるのだからと、父から弦を貼ってはいないが2m以上もある和弓を紫の布でくるんで持たされた。リュックを背負い、長い槍のような物を手にした原住民さんながらの出で立ちをした私を、さすがに周りも遠慮なしにジロジロ見ている。恥ずかしくて顔を赤らめていると、黒人中年女性の係の人がこれはなんだと問い詰めてくる。ちょっぴり勇気をだして、日本から持ってきた貴重な弓だと自慢げに答える。するとこの弓はいくらしたのかとしきりに尋ねるのだ。同じ質問を2度、3度繰り返すうちに、はっと気付いた。どうやら関税の対象にしたらしい。幸い実際の値段を知らないのだから答えようがない。何度も押し問答を繰り返した後、やっ

と諦めて通してくれたが、手持ちの金も持ち合わせが少ないことから冷や汗ものであった。

ハワイから目的地のロサンジェルス空港ではお世話になるはずのロンさんが待っていてくれた。ところが、会って見てびっくり、40代くらいの白人で金髪に青い目ではあるが、頭には赤いバンダナにジーンズ、足元を見ると地下足袋をはいているではないか。人類学者という事であったが、この異国の地でも少し際立った存在であった。

何はともあれ、そこからニューメキシコのサンタフェまで、2泊3日の自動車旅行となった。途中高速では、あまりに遅いという事で、拳銃を構えた白バイの検問にあたり、グランドキャニオン近くの湖畔では、何もない野原での車中泊と楽しい移動であった。しかしながら、翌朝の洗面用に手渡されたウェットティッシュ1枚にはさすがに驚いた。世界では本当に水が貴重なのだと思い知らされたのである。

さて、ロンさんの自宅では隣にニューヨークからきた作家の家族がいたり、人類学者達のランチミーティングだったり、面白い毎日を過ごす事ができた。ただ、ある日、苦々しい経験をした。ロンさんの双子の兄弟でやはり人類学者のロンさんのお宅へお邪魔した時のことである。学者仲間のパーティでの帰りの車中で、奥さんのナンシーさんが、しきりに大丈夫かと私を気付かうのである。何故かと尋ねると、集まりの中にいた一人が言葉で私を殺していたとの事である。彼の言葉はフランス訛でとても聞きずらかった。確か議論の中で彼らは、健康保険がないので、組合みたいなものが必要ではないかとの事で、日本はどうだと聞かれた私は日本

の国民皆保険制度を自慢した後であった。しかしながら、笑顔にもかかわらずかなり批判的な事を言われていたらしい、その事にまったく気付かなかったのである。確か彼の奥さんが中国人だからなのか、それとも、私が日本人だからなのか、悔しくてその晩はなかなか寝つけなかった。翌日、彼が日頃から皮肉ばかり言っている人だと解った時も日本語だったら、少しは、やんわり言い返せたのにとすると、尚更、残念でならなかった。

それでも、初めてのアメリカでの生活は刺激的で楽しかった。野外のジャズコンサートに連れて行ってもらったり、ナバホインディアンの居留地を見せてもらったりと、あっという間に楽しい日々は過ぎ去っていった。最後にグレイハウンドのバスでロサンゼルスに帰る時にはロンさんが思い切りハグしてくれたのがとてもうれしくて涙が出そうになった。

旅行の仕上げに遊学中の高校生時代の友人と一緒にヨセミテ公園までの小旅行に出かけた。そこで思い出したくもない大失敗が発覚した。今とは違って当時はデジタルの携帯電話もなく、写真はフィルムカメラが主流の時代であった。小型カメラの枚数が78枚に達したので、フィルムを交換しようとして後ろをあけたところで、びっくり、なんとカメラの中は空っぽであった。そのカメラは、父から郵送してもらったので、てっきりフィルムが入っているものと最初から勘違いしていたのだ。私はシャッターチャンスのみごとな滝の前で、呆然として、立ち尽くす他なかった。側では友人が腹を抱えて転げ回っている。約1か月もの間の様々な貴重な経験を記録していたはずの写真が1枚もないのだ。青春の思い出を飾るべき私の初めてのアメリカ旅行の消えた78枚の写真が、もし、今手元にあったらと考えると、返す返すも残念ではない。

お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮城・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

